

# 手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 (平成28年度第2回)

日時：平成28年8月29日（月）午後3時～4時30分

場所：鳥取県庁 第32会議室（第2庁舎4階）

## 1 開 会

## 2 委員長あいさつ

## 3 報告事項

- (1) 予選審査結果について（資料1）

## 4 議 題

- (1) 議案第1号  
第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園実施計画について（資料2）

## 5 その他

- (1) 大会への出席及び支援について
- (2) 今後の日程について（資料3）
- (3) その他

## 6 閉 会

資料 1

第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会出場チーム一覧  
(予選審査結果)

【①地方ブロック枠(6チーム)】※各ブロックで最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	高校名	得点	出場回数
北海道・東北	北海道	石狩翔陽高等学校β	172	3回目
関東	東京都	中央ろう学校	164	初
中部	石川県	田鶴浜高等学校	168	3回目
近畿	奈良県	奈良県立ろう学校	174	3回目
中国・四国	鳥取県	境港総合技術高等学校	154	3回目
九州・沖縄	熊本県	熊本聾学校	175	2回目

【②得点順枠(13チーム)】※①を除く上位13チームを選出

ブロック名	都道府県名	高校名	得点	出場回数
関東	東京都	大泉桜高等学校	163	3回目
		立川ろう学校		初
九州・沖縄	福岡県	三井高等学校	163	3回目
近畿	奈良県	聖心学園中等教育学校	157	初
中国・四国	鳥取県	鳥取城北高等学校	151	2回目
中部	愛知県	岡崎東高等学校	150	初
近畿	京都府	京都府立聾学校	149	2回目
中国・四国	鳥取県	鳥取聾学校	148	3回目
九州・沖縄	沖縄県	真和志高等学校	148	3回目
中部	山梨県	身延山高等学校	145	2回目
近畿	大阪府	松原高等学校	145	3回目
近畿	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	145	初
関東	神奈川県	横浜南陵高等学校	141	初
中部	愛知県	杏和高等学校	140	2回目

【③開催地枠(1チーム)】※①・②を除く鳥取県の最上位チームを選出

ブロック名	都道府県名	高校名	得点	出場回数
中四国	鳥取県	米子高等学校	114	初

[本大会の演技順]

順番	都道府県名	高校名	備考
1	鳥取県	米子高等学校	選手宣誓
2	京都府	京都八幡高等学校南キャンパス	
3	京都府	京都府立聾学校	
4	山梨県	身延山高等学校	
5	愛知県	岡崎東高等学校	
6	神奈川県	横浜南陵高等学校	
7	沖縄県	真和志高等学校	
8	鳥取県	鳥取聾学校	
9	大阪府	松原高等学校	
10	愛知県	杏和高等学校	
11	鳥取県	境港総合技術高等学校	
12	奈良県	奈良県立ろう学校	
13	北海道	石狩翔陽高等学校	
14	奈良県	聖心学園中等教育学校	
15	東京都	大泉桜高等学校 立川ろう学校	
16	福岡県	三井高等学校	
17	東京都	中央ろう学校	
18	鳥取県	鳥取城北高等学校	
19	石川県	田鶴浜高等学校	
20	熊本県	熊本聾学校	



第3回 全国高校生  
手話パフォーマンス甲子園  
実施計画



[主催]  
手話パフォーマンス甲子園  
実行委員会

[共催]  
鳥取県  
(公社)鳥取県聴覚障害者協会

[特別協賛]

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

[特別協力]

(一財)全日本ろうあ連盟



## 1. 目的

ろう者と聞こえる人が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話を身近なものとして理解してもらうとともに、手話とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を鳥取県で開催する。

## 2. 日程

日時：平成28年9月25日（日）9時30分～16時30分

場所：倉吉未来中心 大ホール（鳥取県倉吉市駄経寺町212番地5）

（収容人数：最大1,503席（うち車椅子席8席、介助席6席））

### 【交流会】

日時：平成28年9月24日（土）18時～20時

場所：鳥取短期大学・鳥取看護大学シグナスホール内体育館（鳥取県倉吉市福庭854）

※ 大会関係者（出場チーム、司会・審査員・ゲスト、来賓等）一同が参加する立食パーティー。

## 3. 出場チーム

予選審査を通過した全国の高校生による全20チーム

○応募期間：5月9日（月）～6月30日（木）

※ 30都道府県から61チーム（65校）の参加申込みがありました。

○予選審査：8月9日（火）鳥取県庁で開催

※ 本大会に出場する20チームを選出しました。（ビデオ審査）

## 4. 演技内容

手話を使った歌唱、ダンス、演劇、ポエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスで、表情も含め手話を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるもの。（演技時間 8分）





## 5. 表彰

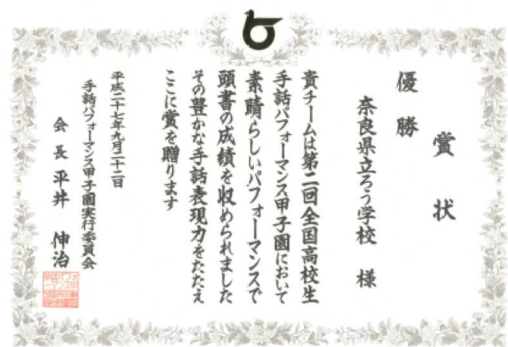
- ① 優勝（賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。）
- ② 準優勝（賞状、準優勝楯、メダル、副賞を授与する。）
- ③ 3位（賞状、メダル、副賞を授与する。）
- ④ 審査員特別賞（賞状、副賞を授与する。）
- ⑤ 全日本ろうあ連盟賞（賞状、副賞を授与する。）
- ⑥ 日本財団賞（賞状、副賞を授与する。）



優勝旗（上）  
表彰状（下）



鳥取砂丘の砂を使用した表彰メダル



## 6. スケジュール

- |          |                               |
|----------|-------------------------------|
| 2月15日(月) | 開催告知                          |
| 3月18日(金) | 開催要項(大会の詳細)公表                 |
| 5月9日(月)  | 参加申込み受付開始                     |
| 6月30日(木) | 参加申込み締切                       |
| 7月25日(月) | 予選審査用動画の提出締切                  |
| 8月9日(火)  | 予選審査会（結果発表、本大会演技順番、選手宣誓チーム決定） |
| 9月24日(土) | リハーサル（本大会と同会場）、交流会            |
| 9月25日(日) | <b>本大会</b>                    |

## 7. 主催者等

○主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会

鳥取県・鳥取県教育委員会・全日本ろうあ連盟・日本財団

鳥取県聴覚障害者協会・全国手話通訳問題研究会鳥取支部・鳥取県商工会議所連合会

○共催 鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会

○特別協力 全日本ろうあ連盟

○特別協賛 日本財団



## 8. 交流会

- 日 時 : 平成28年9月24日(土) 18時~20時  
○場 所 : 鳥取短期大学・鳥取看護大学  
シグナスホール内体育館(鳥取県倉吉市福庭854)  
○出席者 : 約250人



〔内訳(予定)〕

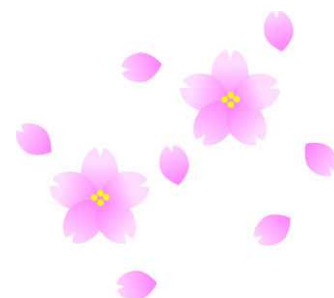
- 来賓等 20名(全日本ろうあ連盟・日本財団・国会議員等)  
出演者① 200名(出場チーム(高校生・引率者))  
出演者② 15名(司会・審査員・ゲスト)  
主催者等 15名(鳥取県・鳥取県聴覚障害者協会・実行委員会委員 等)

### 【日程】

時間	項目	内容
18:00	開会	司会者
18:04	主催者あいさつ	鳥取県知事(手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長) 平井 伸治
18:09	乾杯	鳥取県議会議長 斉木 正一 ※ 鳥取の特産品を使ったソフトドリンクによる乾杯
18:12	歓談	(出席者間で交流を深める)
18:37	出場チームの抱負	各出場チームごとに、大会への意気込みを発表
19:00	歓談	(出席者間で交流を深める)
19:15	ゲストパフォーマンス	マカローニ
19:35	歓談	(出席者間で交流を深める)
19:50	出場チームへのエール①	演技司会者
19:53	出場チームへのエール②	審査員長
19:56	閉会あいさつ	手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 委員長 (鳥取県福祉保健部長) 藪田 千登世
20:00	閉会	



< 今年の交流会の様子 >



## 9. 本大会

○日 時 : 平成28年9月25日(日) 9時30分～16時30分  
 ○場 所 : 倉吉未来中心 大ホール(鳥取県倉吉市駄経寺町212-5)  
 ※収容人数 1,503席

<倉吉未来中心大ホール>



### 【日程】

時 間	項 目	内 容
9:30～10:10	開会式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・主催者あいさつ(平井鳥取県知事)</li> <li>・来賓あいさつ 全日本ろうあ連盟 長谷川副理事長 日本財団 尾形理事長</li> <li>・出場チームの紹介</li> <li>・優勝旗返還(前回大会優勝校 奈良県立ろう学校)</li> <li>・選手宣誓(米子高等学校)</li> <li>・審査方法の説明、審査員の紹介</li> <li>・演技司会者の紹介</li> </ul>
10:10～12:00	チーム演技①	前半10チームの演技(P.12)
12:00～12:50	(昼休憩)	
12:50～15:00	チーム演技②	後半10チームの演技(P.13) ※ 途中、10分程度の小休憩を挟む。
15:00～15:15	(休憩)	
15:15～15:45	ゲストパフォーマンス	岐阜ろう劇団 いぶき
15:45～15:55	クイズラリー抽選会	
15:55～16:30	表彰式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰 優勝、準優勝、第3位、審査員特別賞、 全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞</li> <li>・審査員長講評</li> <li>・主催者あいさつ(鳥取県聴覚障害者協会 下垣理事長)</li> </ul>
16:30	閉会	

## 【大会の観覧】

項目	内容
観覧方法	観覧自由（事前申込み不要）
入場料	無料
一般入場者	約950名 （※昨年は461名。昨年の2倍以上の一般入場者席を確保する。）
サテライト会場	多くの入場希望者が来場し、会場に入場できない状況を想定して、施設内にサテライト会場を用意する。 ○場所：アトリウム（1階フリースペース） ○席数：300席（立ち見スペースも用意） ○設備：240インチのスクリーン、音響
ライブ配信	当日来場できない方を含め、より多くの方に大会を観覧いただけるよう、インターネット（手話パフォーマンス甲子園★動画チャンネル）上でライブ中継を行う。なお、CD音源を使用する場合、著作権について所有者の許諾が得られない場合は、音声を配信しない。

## 【催し等】

項目	内容
あい・サポートマルシェ （正面入口前）	障がい福祉サービス事業所等による販売コーナー （飲食物（軽食）、事業所作品、特産品等の販売）
鳥取聾学校写真展 （会場入場口付近）	鳥取聾学校生徒による写真作品の展示コーナー
グッズ販売コーナー （1階アトリウム）	大会公式グッズの販売コーナー
大会紹介コーナー （2階会場入口前）	大会概要や過去の大会の様子を伝えるパネルの展示、過去の映像を紹介する映像コーナーの設置
手話パフォーマンス甲子園 クイズラリー	手話にまつわるクイズを出題、複数のクイズコーナーを設置し、クイズラリーを実施。正解者には、抽選で景品をプレゼント。

<マルシェ(前回)>



<作品展示(前回)>



<公式グッズ(前回)>





## 【演技司会（2名）】



はやせ けんたろう  
**早瀬 憲太郎 氏**

学習塾「早瀬道場」塾長 ろう者  
学習塾「早瀬道場」を設立し、塾長としてろう児の国語指導等を行っている。  
映画「ゆずり葉」の脚本・監督。  
2015年3月まで、NHK Eテレ「みんなの手話」の講師として、長年にわたり出演してきた。  
第1～2回大会の演技司会。



まつもと わかな  
**松本 若菜 氏**

女優 聞こえる人  
鳥取県米子市出身。2007年「仮面ライダー電王」で女優デビュー。その後、ドラマ・映画に出演する傍ら、自身の出身地である鳥取県の「とっとりふるさと大使」や「鳥取銀行」のイメージキャラクターを務めるなど、多分野で活躍している。主な出演作に、ドラマ「アルジャーノンに花束を」、「相棒」。映画「ペコロスの母に会いに行く。」「駆込み女と駆出し男」「無伴奏」などがある。来年2月には、映画「愚行録」の公開が控えている。

## 【総合司会（1名）】

NHK鳥取放送局 おおき こうじ  
**大木 浩司**アナウンサー

※ 第1回～第2回大会に引き続き、総合司会を担当。



## 【審査員（6名）】

### 【審査員長】



しょうざき たかし  
**庄崎 隆志 氏**

演出家・俳優 ろう者  
19歳でプロ劇団デフ・パペットシアター・ひとみの旗揚げに参加。その後、代表・演出となる。  
松山善三演出の『赤い椿の物語』出演。  
『オルフェ』、『曾根崎心中』『遠野物語』主演など、俳優として表現方法を探求しながら演出・脚本も手掛ける。以来、全国各地780ヶ所で2000回以上、ヨーロッパ、アメリカ、アジア各地など海外14ヶ国で公演。  
2005年、デフ・パペットシアターひとみ退団後も、公演プロデュース、そのかわら大学などでワークショップの講師としても活動。  
2009年、映画『ゆずり葉』（全日本ろうあ連盟製作）主演。  
2010年、横浜文化賞・文化芸術奨励賞の受賞など、多くの受賞歴があり、ろう者の俳優の第一人者として活躍中。



おしだり あきこ  
**忍足 亜希子 氏**

女優 ろう者  
1970年北海道千歳市生まれの横浜育ち。生まれつき耳が聴こえない。  
1999年に公開された映画『アイ・ラブ・ユー』でろう（聾）の主演女優としてデビュー。  
第54回毎日映画コンクール「スポニチグランプリ新人賞」受賞。第16回山路ふみ子映画賞「山路ふみ子福祉賞」受賞。  
映画『アイ・ラブ・フレンズ』『アイ・ラブ・ピース』『黄泉がえり』など印象深い演技を披露。ドラマ・CM・モデルとしても活躍。  
著者『忍足亜希子と覚えるはじめての手話』（ナツメ社）、『愛聞こえますか？』（光文社）



こなか えいち  
**小中 栄一 氏**

全日本ろうあ連盟副理事長 ろう者  
昭和29年（1954年）生まれ。7歳頃に聴覚障害となる。  
富山市在住。趣味は、読書（マンガも）、字幕付のテレビ番組を楽しむ。

〔現役職〕

一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事  
（文化部、労働対策部、手話通訳対策部、事務局長を経て、  
現在は副理事長）

NPO法人ろう教育を考える全国協議会 理事長

社会福祉法人富山県聴覚障害者協会 理事

富山県聴覚障害者センター 施設長

富山市聾唖福祉協会 会長



かど ひでひこ  
**門 英彦 氏**

絵かき 聞こえる人

ろうあ者（聴覚障がい）の両親を持つ健聴者。

両親との手話コミュニケーションの補足として絵を描き始める。

個展や国内外の学校、野外音楽フェス等でのライブペインティング、ワーク  
ショップ、講演の他、アニメーション作品の制作、ミュージシャンのアート  
ワークを手掛けるなど、創作は多岐に渡る。ことばで会話することだけがコ  
ミュニケーションではないという思いから、「HAND TALK」という言葉  
を生み出しコミュニケーションの大切さを伝えている。

門秀彦HP：<http://www.kado4life.jp>

Giraffant facebook：<https://www.facebook.com/giraffant.room/>



みなみ るるか  
**南 瑠霞 氏**

手話パフォーマー 手話通訳士 聞こえる人

手話ミュージカルや手話ライブ等を展開する“手話パフォーマンスきいろぐ  
み”主宰。きいろぐみメンバーは約30人。半数がろう者。

南 瑠霞は、NHK「LIFE～人生にささげるコント」「東京ディズニーリ  
ゾート」など、各メディア・舞台に出演。ドラマ「オレンジデイズ」、ハリ  
ウッド映画「バベル」、モーニング娘。、ケミストリー、しまじろう関連ソ  
ング、上地 遊助等手話指導。



やまだ もりお  
**山田 衛生 氏**

鳥取県合唱連盟理事長・全日本合唱連盟常務理事 聞こえる人

2002年県立高校音楽科教諭退職。その間、部活動で吹奏楽、合唱、管弦楽  
を指導、中国・全国大会に度々出場。

1970年代よりオーケストラ、合唱等、地域の文化活動に携わり、

1995,1998,2005,2014年県民による第九倉吉公演指揮者を務める。

2004年鳥取県合唱連盟理事長に就任、2008～2015年中国支部副支部長、  
2016年全日本合唱連盟常務理事に就任。

## 【ゲストパフォーマー（本大会）】



### 岐阜ろう劇団いぶぎ

昭和57年結成。全国ろうあ者大会の演劇祭典に7回参加。平成7年世界ろう者会議の演劇祭典(ウィーン)に日本代表として参加。

平成7年NHK東海いぶぎ賞受賞。

平成8年岐阜県芸術文化奨励賞受賞。

第9回岐阜市市民芸術祭演劇の部に初めて参加。

平成11年国民文化祭・ぎふ99演劇祭(一般演劇)参加。

平成12年第39回全国アマチュア演劇大会参加。

平成13年全国障害者アート・フェスタ大阪参加。

平成24年第25回岐阜市市民芸術祭演劇の部岐阜ろう劇団いぶぎ創立30周年記念劇団はぐるま合同公演。

## 【ゲストパフォーマー（交流会）】



### マカローニ

手話パフォーマーの高木里華(右)とヒップホップ・ダンサーのTAMA(左)の2名からなるろう者による女性ユニット。

タマの「マ」、タカの「カ」、聾(ろう)の「ロー」、2人で「ニ」。合わせて「マカローニ」。

2004年米国のデフ・ダンスグループ「ワイルドザッパーズ」来日時ワークショップで高木里華とtamaが出会い意気投合。「ダンス」と「手話」を融合創作するデフパフォーマーに。

二人とも、ろう者でろう者ならではの表現豊かな手話パフォーマンスが持ち味。

ハートフルなパフォーマンスが観る者の心を捉える。

飽くなき探求心と斬新なアイデアで、手話パフォーマンスのパイオニアとして進化を続けている。

## 10. 後援

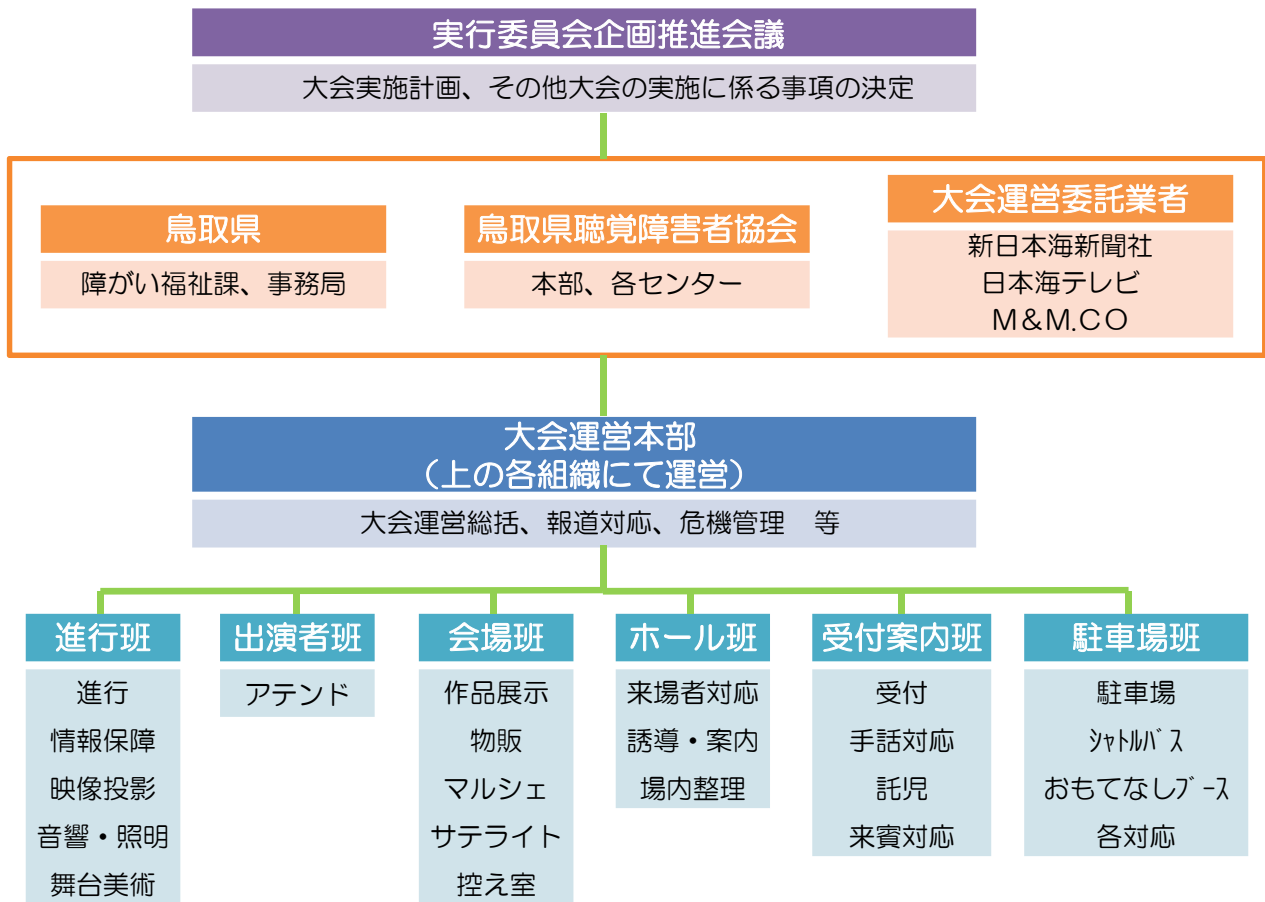
内閣府、厚生労働省、文部科学省、倉吉市、一般社団法人全国手話通訳問題研究会、一般社団法人日本手話通訳士協会、全国聾学校長会、全国高等学校文化連盟、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団、社会福祉法人全国社会福祉協議会、全国難聴児を持つ親の会、日本演劇教育連盟、日本障害フォーラム、朝日新聞社、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、産経新聞社、日本経済新聞社鳥取支局、

新日本海新聞社、山陰中央新報社、中国新聞鳥取支局、共同通信社鳥取支局、時事通信社鳥取支局、NHK鳥取放送局、BSS山陰放送、日本海テレビ、TSK山陰中央テレビ、テレビ朝日鳥取支局、鳥取県ケーブルテレビ協議会、エフエム山陰、FM鳥取、DARAZ FM





## 11. 運営体制



## 12. 大会公式ソング

### HANDSIGN 「LIFE STORY」

- ⇒ 第2回大会のゲストパフォーマー。
- ⇒ 昨年の第2回大会の公式テーマソングとして、同アーティストの楽曲「友達」を採用した。
- ⇒ 大会のプロモーション等で活用する。  
(大会時に歌唱する等は行わない。)
- ⇒ 引き続き、同アーティストの楽曲を公式テーマソングとして活用することで、昨年興味をもったファン層等、若い人たちにPRすることが可能。



【手話とダンスを融合したパフォーマー】





## 13. 本大会審査実施要領

### 1 概要

- (1) 日程 平成28年9月25日(日)
- (2) 場所 倉吉未来中心大ホール(鳥取県倉吉市駄経寺町212番地5)

### 2 審査員

審査員は、ろう者3名及び聞こえる人3名の計6名とし、このうち1名を審査員長とする。

#### [審査員一覧]

役割	氏名(敬称略)		役職等	
審査員長	庄崎 隆志	しょうざき たかし	演出家・俳優	ろう者
審査員	忍足 亜希子	おしだり あきこ	女優	ろう者
	小中 栄一	こなか えいいち	全日本ろうあ連盟副理事長	ろう者
	門 秀彦	かど ひでひこ	絵かき	聞こえる人
	南 瑠霞	みなみ るるか	手話パフォーマー 手話通訳士	聞こえる人
	山田 衛生	やまだ もりお	鳥取県合唱連盟理事長	聞こえる人

### 3 審査方法

5の採点方法に基づき、各審査員が各チームの演技を審査、採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

### 4 演技時間等

- (1) 演技時間は8分以内とする。
- (2) 演技は、司会者が「どうぞ」と演技開始の声掛けを行ったときから開始し、生徒の「ありがとうございました」の発声又は手話をもって終了する。
- (3) 各チームの演技時間の実績は、主催者が配置したタイムキーパーが計測した時間とする。
- (4) 舞台上に演技時間の経過を示すライト(4色カラー)を設置する。カラー表示は以下のとおりとする。

・演技開始後	→	青
・7分経過(残り1分前)	→	緑
・7分30秒経過(残り30秒前)	→	黄
・8分超過	→	赤

- (5) 演技の準備時間は概ね1分以内とする。
- (6) 演技は舞台上の定められたエリアのみで行うこと。また、演技者である生徒以外が舞台に立つことは認められない。なお、障がい等により、演技を行う際に補助が必要な場合は、舞台の下や袖から補助動作を行うことは認める。(合図を出す、リズムを示す、音声通訳を行う 等)

### 5 採点方法

- (1) 各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

審査員	手話の正確性・ 分かりやすさ	演出力・ パフォーマンス度	合 計
ろう者	(30 点満点)	(30 点満点)	(60 点満点)
ろう者	(30 点満点)	(30 点満点)	(60 点満点)
ろう者	(30 点満点)	(30 点満点)	(60 点満点)
聞こえる人		(40 点満点)	(40 点満点)
聞こえる人		(40 点満点)	(40 点満点)
聞こえる人		(40 点満点)	(40 点満点)
合計	(90 点満点)	(210 点満点)	(300 点満点)

(2) 各審査項目の採点の観点は次のとおりとする。

ア 手話の正確性・分かりやすさ

セリフ（音声表現、字幕）と手話が正しく表現されているか。表情も使って分かりやすく表現されているか。演技者が表現したい内容が伝わり理解できるか。

イ 演出力・パフォーマンス度

チームとしての一体感があるか。機知に富み観客を魅了する表現力、ひたむきさがあるか。演技者が込めた思いやメッセージがしっかりと伝わってくるか。構成や演出がよく工夫されているかどうか。

(3) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議（減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。）により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項 目	内 容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を侵害する内容が含まれる場合	失格
演技上のセリフや手話に対応した字幕が全くない場合	失格
演技者である生徒以外の者が舞台上に立ち入り、演技又は演技の補助を行った場合	20点減点
演技時間の超過 (例：10秒超過 △10点、45秒超過 △20点、1分20秒超過 △30点)	30秒超過ごとに 10点減点
1分を大幅に超えて準備に時間を要した場合	10点減点
演技上のセリフや手話に対応した字幕が十分に表示されない場合	10点減点
舞台上の定められたエリア以外で演技を行った場合	10点減点
演技終了の合図を行わなかった場合 (例：演技動作終了後、約10秒程度経過しても、合図がない場合等)	5点減点
その他、不適切と認められる演技又は行為	失格又は減点

## 6 表彰チームの決定方法

- (1) 優勝、準優勝及び3位は、審査得点の順により決定する。なお、審査得点が同点の場合は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。
- (2) 審査員特別賞は、審査員で協議の上、審査員長が決定する。
- (3) 全日本ろうあ連盟理事長は、全日本ろうあ連盟賞を決定する。
- (4) 日本財団理事長は、日本財団賞を決定する。

## 7 結果通知及び公表

- (1) 大会終了後、各チームに対し、審査得点、順位及び審査員評（審査員名は非公開）を送付する。
- (2) 受賞チームについて、チーム名及び審査得点（優勝、準優勝及び3位に限る。）を、大会公式ホームページに掲載する。

## 14. 出場チーム紹介



### 【午前に発表する10チーム】

発表	高校名	チーム紹介
1	米子高等学校 (鳥取県) 【初】	私たちは障がいのある方々ともコミュニケーションの取れる保育士を目指して毎日勉強しています。その中で手話の大切さや楽しさ、読み聞かせの楽しさを学びました。甲子園では手話で楽しめる読み聞かせを披露します。
2	京都八幡高等学校 南キャンパス (京都府) 【初】	私たちの学校は、同一敷地内に支援学校があるという全国的にも珍しい高校です。授業だけではなく、昼休みを一緒に過ごすなど、日常的な交流もしています。手話初心者ばかりですが、両校の素敵な交流を紹介します。
3	京都府立聾学校 (京都府) [2回目]	去年に続き応募しました京都府立聾学校です。 自分を見つめる高校生の姿や、生まれた意味とはなんなのかを演技にして発表したいと思います。 去年より順位を上げられるように頑張ります！
4	身延山高等学校 (山梨県) [2回目]	てっ！男子部員が9名も居る県内唯一の手話部。すげえじゃん！毎年復興地で手話教室を開いているしねえ。部員全員「笑顔」を大切に、毎日手話をやってるじゃん！応援して下さる聾者に感謝し、心一つに優勝するら？
5	岡崎東高等学校 (愛知県) 【初】	私たちはJRC部1年生有志チーム「岡東YDY（やれば・できる・よ）」です。 ボランティア精神溢れる3人がJRC部入部により手話と出会い、手話に惹かれていきました。精一杯頑張ります！宜しくお願いします！
6	横浜南陵高等学校 (神奈川県) 【初】	私達、社会福祉部は手話を中心にボランティア活動にも積極的に参加しています。また、様々な機会をとらえて、手話通訳にも挑戦しています。私達は、より大きな舞台で活躍することを目標に、日々努力を重ねています。
7	真和志高等学校 (沖縄県) [3回目]	沖縄県立真和志高等学校手話同好会です。戦後70年がたちました。沖縄のアーティストが作った「いのちのリレー」の手話ソングを披露します。あの悲惨な戦争が二度と繰り返されることがありませんように……。いのちの尊さ、命あることは宝という沖縄の方言でいう「命どう宝」を込めて精一杯表現します。
8	鳥取聾学校 (鳥取県) [3回目]	『鳥取県』と聞いて何が思い浮かびますか？鳥取県といえば、鳥取砂丘・ゲゲゲの鬼太郎・梨・蟹・・・などが思い浮かぶと思いますが、他にも鳥取県の伝統的な物語や踊りもあります。私が生まれ育った鳥取県で特に好きなものを取り上げてみなさんに紹介しながら鳥取県の良さを知って欲しいと思います。鳥取にきなんせえ♪
9	松原高等学校 (大阪府) [3回目]	今年も来ました！松原高等学校です。新一年のメンバーの多くが手話未経験ですが3年生が中心となり初めて演劇で手話パフォーマンス甲子園に挑戦します。松原高校が大切にしている「3つのWA」を一杯表現します！
10	杏和高等学校 (愛知県) [2回目]	私たちの住む地域では南海トラフ地震の被害が想定されています。そこで災害時避難の心構えを、昨年よりパワーアップした演技と歌でみなさんにお伝えします。「自助・共助・公助」みなさんは知っていますか？



## 【午後に発表する10チーム】

発表	高校名	チーム紹介
11	境港総合技術高等学校 (鳥取県) [3回目]	私たちは、福祉科ボランティア類型で地域のたくさんの方との交流を続けています。特に障がいのある子どもたちの笑顔や成長していく姿にはいつも励まされます。彼らと一緒に歩いていきたいという思いを、手話で一生懸命伝えたいと思います。
12	奈良県立ろう学校 (奈良県) [3回目]	「かつて、人類の言語は一つだった。」「手話」が、「目に見える言語」として、すべての人々に共有できる世界、そして、自分らしく輝きつづける未来を願い、奈良ろう演劇部ならではの表現で精一杯伝えます。
13	石狩翔陽高等学校 (北海道) [3回目]	こんにちは！石狩翔陽高校ボランティア局です。北海道の広い大地で育った私達が今回チャレンジするのは「聞こえない人々の日常」をテーマにした啓発劇です。大会では、北の大地の「道産子魂」をお届けします！
14	聖心学園中等教育学校 (奈良県) 【初】	聖心学園中等教育学校の創作ダンス部です。未経験者がほとんどですが、ダンスが大好きな部員ばかりで、様々なジャンルのダンスに挑戦しています。その中でも今回は、手話を取り入れたサインダンスを踊ります。
15	大泉桜高等学校 立川ろう学校 (東京都) [3回目] 【初(立川ろう)】	第1回から参加している大泉桜高校と立川ろう学校の合同チームです。昨年一緒にパフォーマンスをやっています。まだ2回しか発表していませんが、いずれも会場のお客様たちから大喝采を得ました！嬉しかったぁ！楽しかったぁ！感動したぁ！鳥取でも最高の演技を目指します。ふだんなかなか交流できないので、この大会参加を機会にもっともっと仲良くなりたいです。一緒に砂丘に行くのも楽しみだぁ！
16	三井高等学校 (福岡県) [3回目]	手話ソングが大好きなボランティア部。音楽は歌だけではない。今回はボディパーカッションにもチャレンジ！それぞれが思いを込めて体でリズムを刻んで音を出しています。友達とリズムを感じる楽しさを皆さん一緒に！
17	中央ろう学校 (東京都) 【初】	東京都立中央ろう学校 高等部生活文化部です。普段は手話歌やゲーム作成、部誌作りなどを行っております。手話歌の際はピアノが出来る生徒が演奏します。皆で協力して優勝を目指して頑張ります。
18	鳥取城北高等学校 (鳥取県) [2回目]	私たちの手話パフォーマンスは“忍者学校”です。手話の魅力をコントで表現してみました。手話の持つ力強さ、優しさ、そして手話で繋がった私たちのチームワークをお伝えできたらうれしいです。一緒に楽しみましょう！
19	田鶴浜高等学校 (石川県) [3回目]	『伝えあえる喜び、私たちが創る未来』を表現出来るようになりたい。未熟な私たちは悩み、苦しみ、今年は、筋トレなどの身体作りから始めました。等身大で表現します。この思いと筋トレの成果(?)をご覧ください。
20	熊本聾学校 (熊本県) [2回目]	去年は「落語」で登場した熊聾。今年は熊本地震を乗り越えて感じたことや成長を「手話語り」で発表します。手話落語部の個性的な4人が、力を一つにして熊本聾学校の新しい魅力を伝えます。「がんば聾、熊本！」





## 15. 参加申込みチーム一覧

全国30都道府県から、初参加の30チームを含む61チーム(65校)の参加申込みがありました。  
⇒ このうち、8/9に開催した予選審査会にて、本大会出場20チームを選出しました。

ブロック名	番号	高校名	都道府県	初参加校あり
北海道・東北ブロック (6チーム)	1	札幌平岸高等学校	北海道	○
	2・3	石狩翔陽高等学校 α・β	北海道	
	4	美唄聖華高等学校	北海道	
	5	新得高等学校	北海道	
	6	鶴岡中央高等学校	山形県	○
	7	松井田高等学校	群馬県	○
関東ブロック (11チーム)	8	大川学園高等学校	埼玉県	
	9	クラーク記念国際高等学校東京キャンパス	東京都	
	10	中央ろう学校	東京都	○
	11	豊南高等学校、秀明八千代高等学校	東京都	○
	12	大泉桜高等学校、立川ろう学校	東京都	○
	13	野津田高等学校	東京都	
	14	横浜南陵高等学校	神奈川県	
	15	二俣川看護福祉高等学校	神奈川県	
	16	平塚湘風高等学校、神奈川工業高等学校、立花学園高等学校、小田原総合ビジネス高等学校、茅ヶ崎高等学校	神奈川県	○
	17	藤沢総合高等学校	神奈川県	○
中部ブロック (11チーム)	18	田鶴浜高等学校	石川県	
	19	啓新高等学校	福井県	
	20	身延山高等学校	山梨県	
	21	掛川工業高等学校	静岡県	○
	22・23	桜花学園高等学校A・B	愛知県	
	24	南陽高等学校	愛知県	○
	25	岡崎東高等学校	愛知県	○
	26	安城生活福祉高等専修学校	愛知県	
	27	杏和高等学校	愛知県	
	28	海翔高等学校	愛知県	○
近畿ブロック (14チーム)	29	朝明高等学校	三重県	○
	30	伊賀白鳳高等学校	三重県	
	31	八幡高等学校	滋賀県	
	32	京都府立豊学校	京都府	
	33	京都八幡高等学校南キャンパス	京都府	○
	34	クラーク記念国際高等学校大阪梅田キャンパス	大阪府	○
	35	芦間高等学校	大阪府	○
	36	福井高等学校	大阪府	○
	37	松原高等学校	大阪府	
	38	鳴尾高等学校	兵庫県	○
	39	社高等学校	兵庫県	○
	40	奈良県立ろう学校	奈良県	
	41	聖心学園中等教育学校	奈良県	○
	42	橋本高等学校	和歌山県	○
中四国ブロック (10チーム)	43	鳥取城北高等学校	鳥取県	
	44	鳥取聾学校	鳥取県	
	45	青翔開智高等学校	鳥取県	○
	46	米子高等学校	鳥取県	○
	47	境港総合技術高等学校	鳥取県	
	48	岩美高等学校	鳥取県	
	49	萩高等学校	山口県	○
	50	高松南高等学校	香川県	○
	51	宇和高等学校	愛媛県	○
	52	領北高等学校	高知県	
九州・沖縄ブロック (9チーム)	53	三井高等学校	福岡県	
	54	唐津青翔高等学校	佐賀県	○
	55	嬉野高等学校	佐賀県	
	56	神埼清明高等学校	佐賀県	○
	57	平戸高等学校	長崎県	○
	58	熊本聾学校	熊本県	
	59	大分東明高等学校	大分県	
	60	佐伯豊南高等学校	大分県	○
	61	真和志高等学校	沖縄県	



手話は特別じゃない 1つの言葉



次ページ以降は、企画運営委託業者による実施計画書



全国高校生  
手話パフォーマンス甲子園

実施計画書

2016.08.29

【H28手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議(第2回)】

 株式会社 新日本海新聞社

 日本海テレビ

m&m.CO

共同企業体

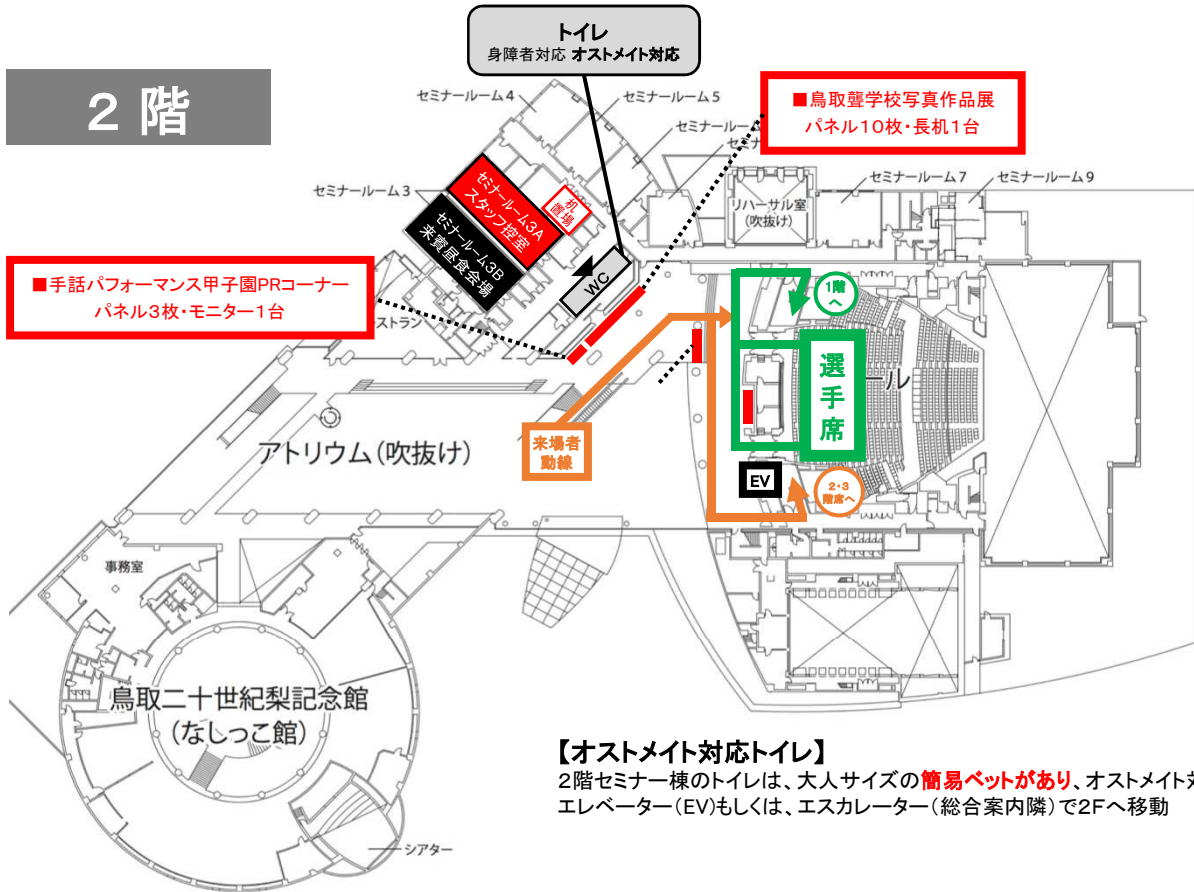
9月24日(土) リハーサル

時間	内容		
10分	受付	リハーサル30分前に、出演者受付に集合	
10分	移動	舞台上手袖に移動	
10分	打合	舞台監督とリハーサル・本番の打ち合わせ	
15分	リハーサル	リハーサル開始後、15分経過時点で「終了」となります	
10分	解散	移動、交流会・明日の説明後、一時解散	

本部・進行班・出演者班・駐車場班						会場班・ホール班・受付案内班		お成り班		
時間	リハ順	演技順	出場チーム	演技分類	集合時間					
9:00										
9:15										
9:30	9:30 オールスタッフ集合									
9:45	リハーサル準備									
10:00	10:00 出演者受付開始									
10:15										
10:30	1	1	米子高等学校	鳥取県	絵本の読み聞かせ	10:00	設営			
10:45	2	8	鳥取豊学校	鳥取県	演劇・傘踊り					
11:00	3	11	境港総合技術高等学校	鳥取県	歌唱	10:30				
11:15	4	18	鳥取城北高等学校	鳥取県	コント					
11:30	調整・休憩									
11:45										
12:00	5	2	京都八幡高等学校南キャンパス	京都府	学校紹介	11:30	休憩			
12:15	6	3	京都府立豊学校	京都府	演劇					
12:30	7	9	松原高等学校	大阪府	演劇	12:00				
12:45	8	12	奈良県立ろう学校	奈良県	演劇					
13:00	調整・休憩									
13:15										
13:30	9	14	聖心学園中等教育学校	奈良県	ダンス	13:00	設営			
13:45	10	4	身延山高等学校	山梨県	歌唱・演劇					
14:00	11	5	岡崎東高等学校	愛知県	歌唱	13:30				
14:15	12	6	横浜南陵高等学校	神奈川県	歌唱					
14:30	13	7	真和志高等学校	沖縄県	歌劇	14:00	交流会 対応			
14:45	14	10	杏和高等学校	愛知県	歌唱・演劇					
15:00	調整・休憩									
15:15										
15:30	15	13	石狩翔陽高等学校	北海道	演劇	15:00	班MTG			
15:45	16	15	大泉桜高等学校・立川ろう学校	東京都	ダンス・コント					
16:00	17	16	三井高等学校	福岡県	歌唱・ポディウム・カクシオン	15:30				
16:15	18	17	中央ろう学校	東京都	演劇・歌唱					
16:30	19	19	田鶴浜高等学校	石川県	歌唱・演劇	16:00	交流会			
16:45	20	20	熊本豊学校	熊本県	語り					
17:00	出場チームリハーサル 最大延長 17:00まで									
17:30	休憩									
18:00	リハーサル (開会式・表彰式)								交流会	
18:30										
19:00									片付け	
19:30										
20:00									片付け	
20:30	リハーサル(岐阜ろう劇団いぶき)									
21:00									片付け	
21:30	統括MTG									
22:00	終了									



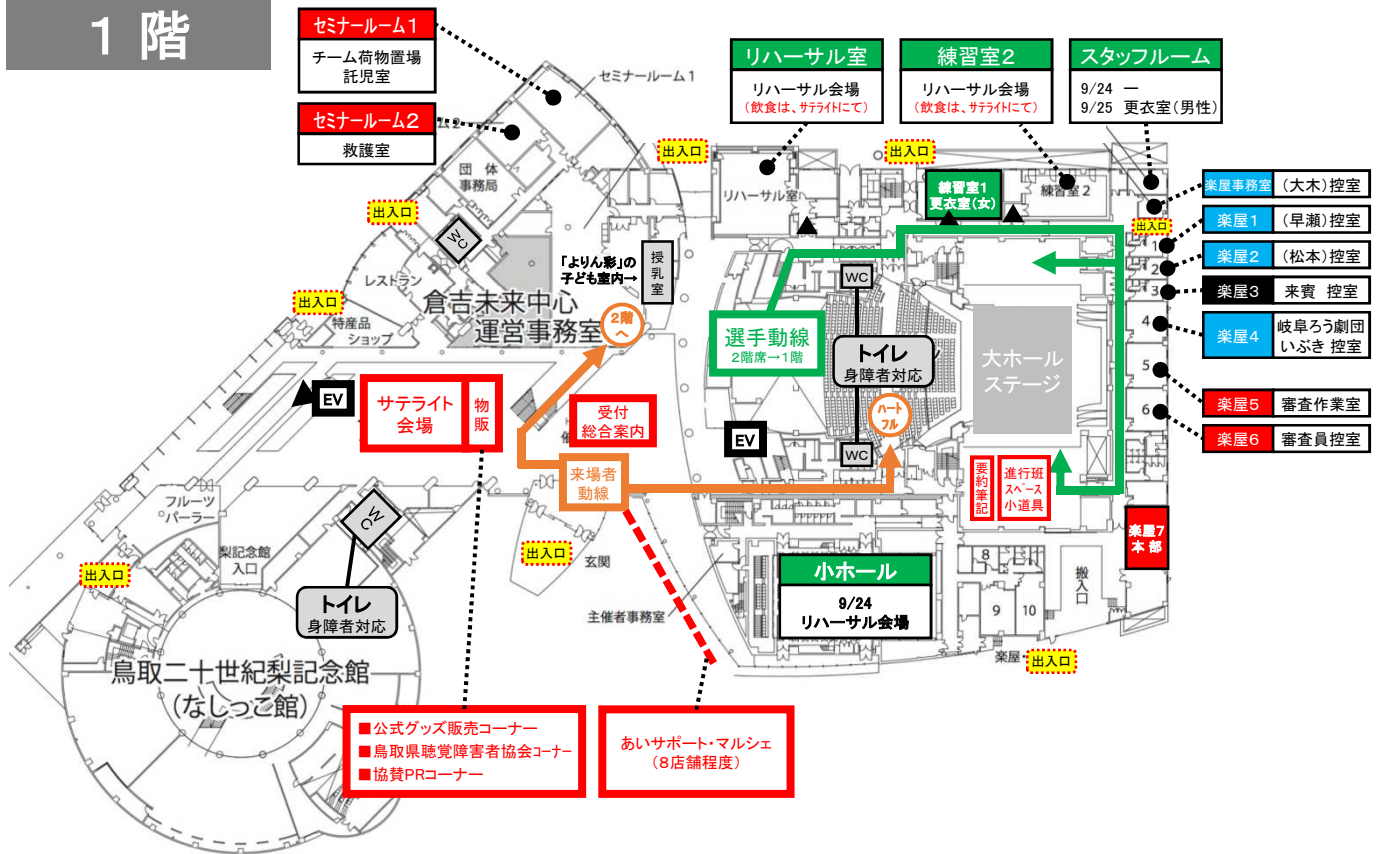
2階



【オストメイト対応トイレ】

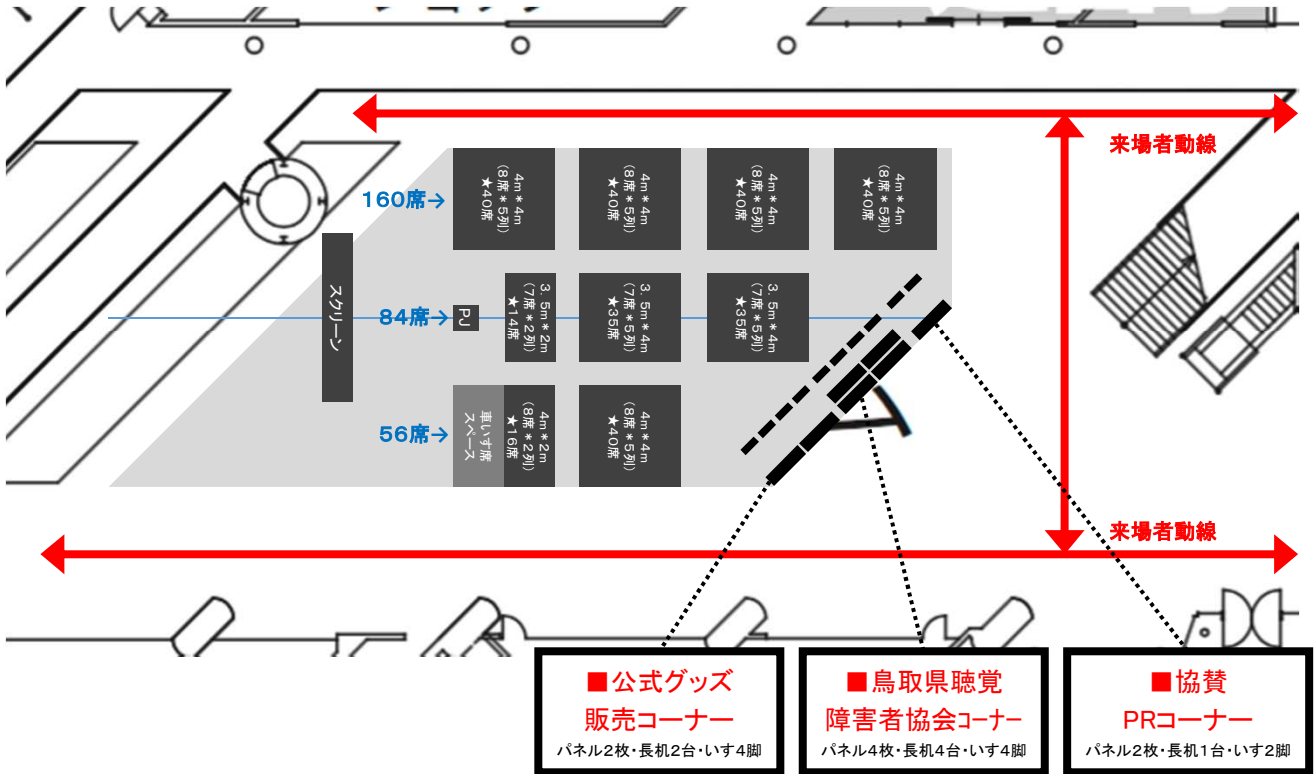
2階セミナー棟のトイレは、大人サイズの簡易ベットがあり、オストメイト対応です。エレベーター(EV)もしくは、エスカレーター(総合案内隣)で2Fへ移動

1階



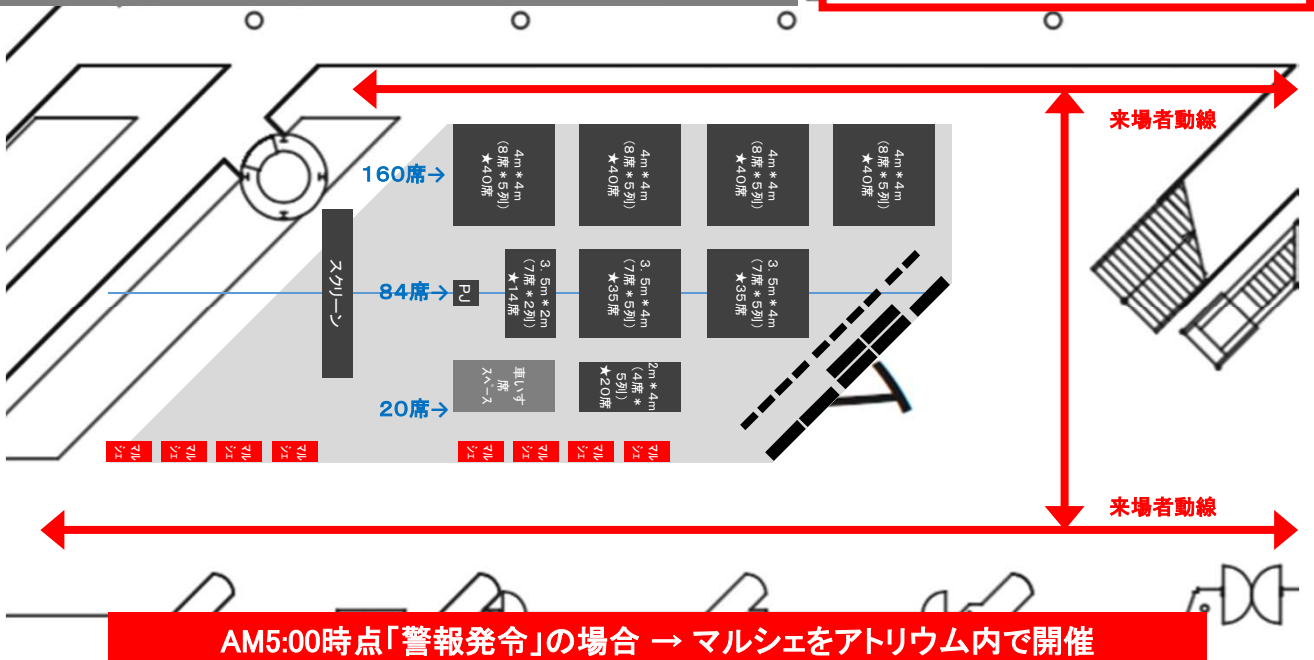
アトリウム詳細(サテライト会場)

300席(車いす席スペース除く)



アトリウム詳細(サテライト会場 警報時)

264席(車いす席スペース除く)



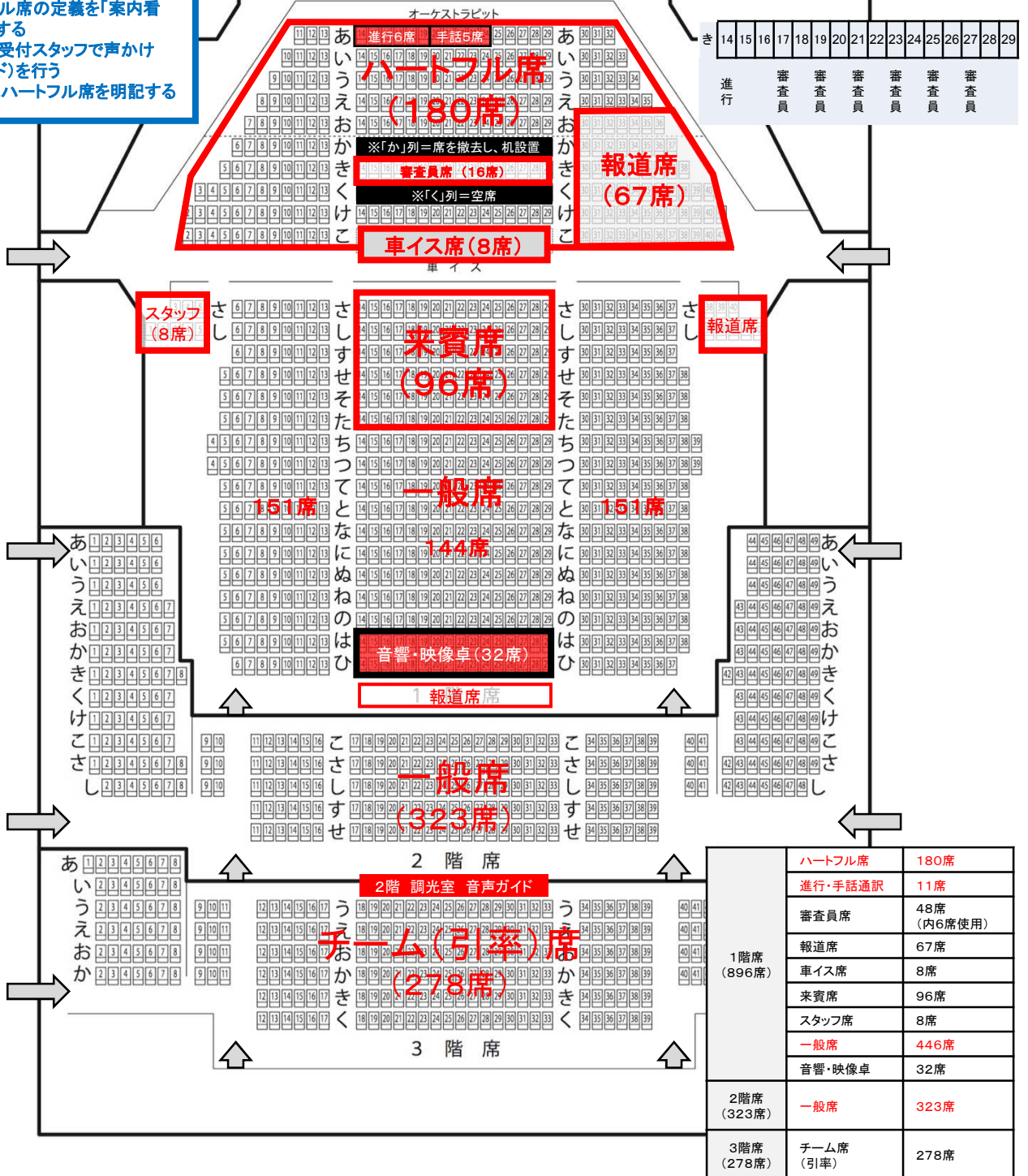
スクリーン

ライブ映像(ひきサイズ、手話通訳・要約筆記込み)を表示

240インチのスクリーン(プロジェクター10,000ルーメン)にライブ映像(スクリーンに手話通訳・要約筆記込み)を投影。音声は、会場と同じ音声を配線し、臨場感のあるパブリックビューイングを展開します。

**ハートフル席の周知**  
 1)ハートフル席の定義を「案内看板」で周知する  
 2)ホール・受付スタッフで声かけ(情報ボード)を行う  
 3)チラシにハートフル席を明記する

上手袖:要約筆記



一般  
ハートフル席  
合計  
**949席**

ハートフル席

一般席

1階の180席をハートフル席として開放。  
 体の不自由な方やお年寄りを優先的に、ステージやモニタ近くに誘導します。  
 看板設置 「ハートフル席をご利用の方は、お声かけください」  
 ◎身体の不自由な方 ◎スクリーンやステージが見にくい方 ◎お年寄り

座席は①ハートフル席(180席) ②1階席(446席) ③2階席(323席)の3つに分け、整理券を配布し、来場者の人数を把握。  
 >お帰りの方 整理券を回収し、新規来場者へ再配布  
 >再入場される方 整理券をそのまま、お持ちいただき、再入場券へ

座席数の把握



空席の削減

お成り・演技中のホールへの出入りは、「ご遠慮いただく」旨をアナウンス!

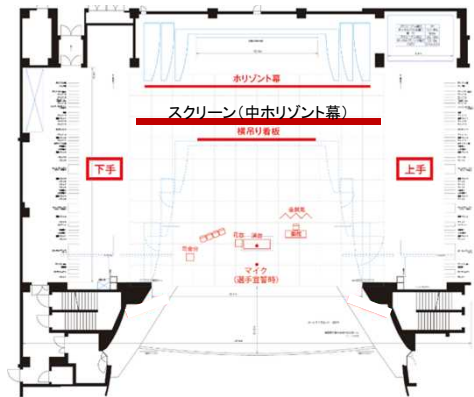




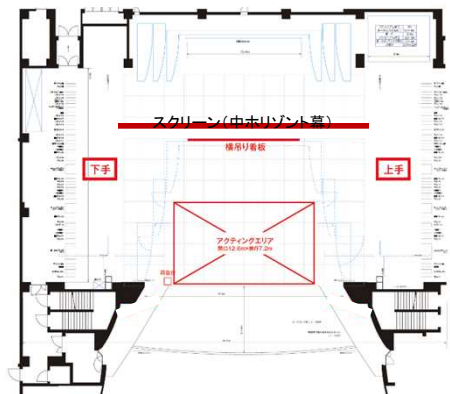
■ スクリーン幕を下げた状態  
(中央スクリーンを使用)

アクティングエリア(奥行5.0M 幅10.0M)に、  
リノリウムを敷くことでエリアのガイドとします。

■ 式典時



■ パフォーマンス時



中央スクリーン【400インチ相当】で投影 手話が分かるバストサイズをメインに表示

LIVE映像

手話通訳

要約筆記

演出映像

ライブ映像  
16:9

手話通訳  
16:9

要約筆記  
32:9

インタビュー時

演出映像  
16:9

ライブ映像①  
16:9

パフォーマンス時

4ソースを、場面に合わせて、マルチ画面で投影することで、演技中に、視線が左右に振られ、得られる情報が少なくなるという問題点を解決します！

演出映像

頭上照明と左右照明を基本照明とし、ステージの明るさを確保しながら、スクリーンの輝度も確保できるよう工夫します。

演技時間表示

下手(司会者側)に表示灯を設置し、残り時間が分かるようにします。  
→ 開始後 **青** 1分前 **緑** 30秒前 **黄** 超過 **赤**  
**演技開始** 司会者の「どうぞ！」の合図で演技開始。(計測開始)  
**演技終了** 出演者の「ありがとうございました」でストップ

ハートフル席

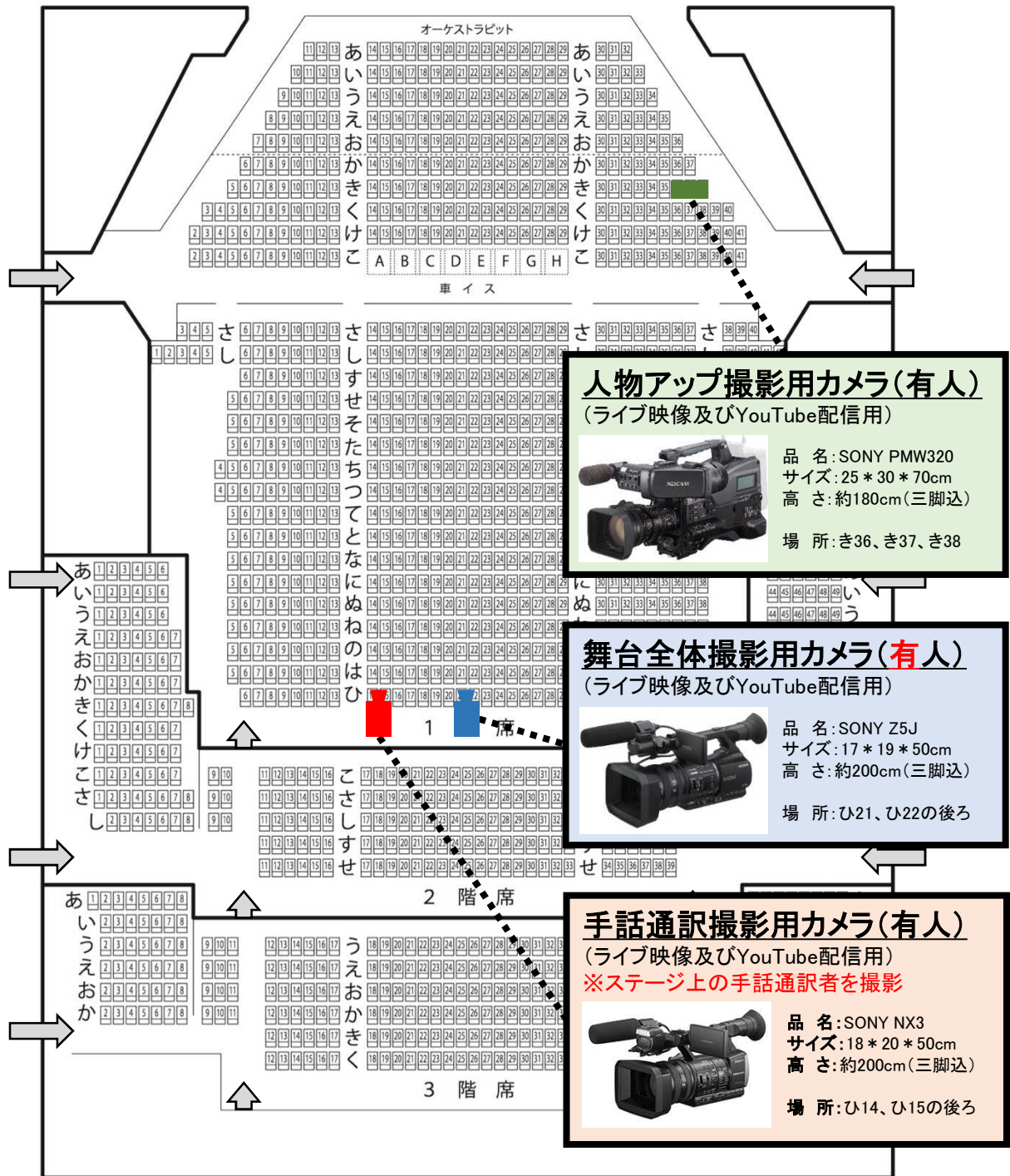
1階の180席をハートフル席として開放。  
体の不自由な方やお年寄りを優先的に、ステージやモニタ近くに誘導します。

2階・3階席

2階・3階席に、モニタの設営が構造上出来ないため、  
お手持ちのスマートフォンで、モニタと同様の画面を観覧出来るようにします。



舞台



**人物アップ撮影用カメラ(有人)**  
(ライブ映像及びYouTube配信用)



品名: SONY PMW320  
サイズ: 25 \* 30 \* 70cm  
高さ: 約180cm(三脚込)  
場所: き36、き37、き38

**舞台全体撮影用カメラ(有人)**  
(ライブ映像及びYouTube配信用)



品名: SONY Z5J  
サイズ: 17 \* 19 \* 50cm  
高さ: 約200cm(三脚込)  
場所: ひ21、ひ22の後ろ

**手話通訳撮影用カメラ(有人)**  
(ライブ映像及びYouTube配信用)  
※ステージ上の手話通訳者を撮影



品名: SONY NX3  
サイズ: 18 \* 20 \* 50cm  
高さ: 約200cm(三脚込)  
場所: ひ14、ひ15の後ろ

ステージ映像

サテライト・ライブ配信映像

ライブ映像 16:9	手話通訳 16:9
要約筆記 32:9	

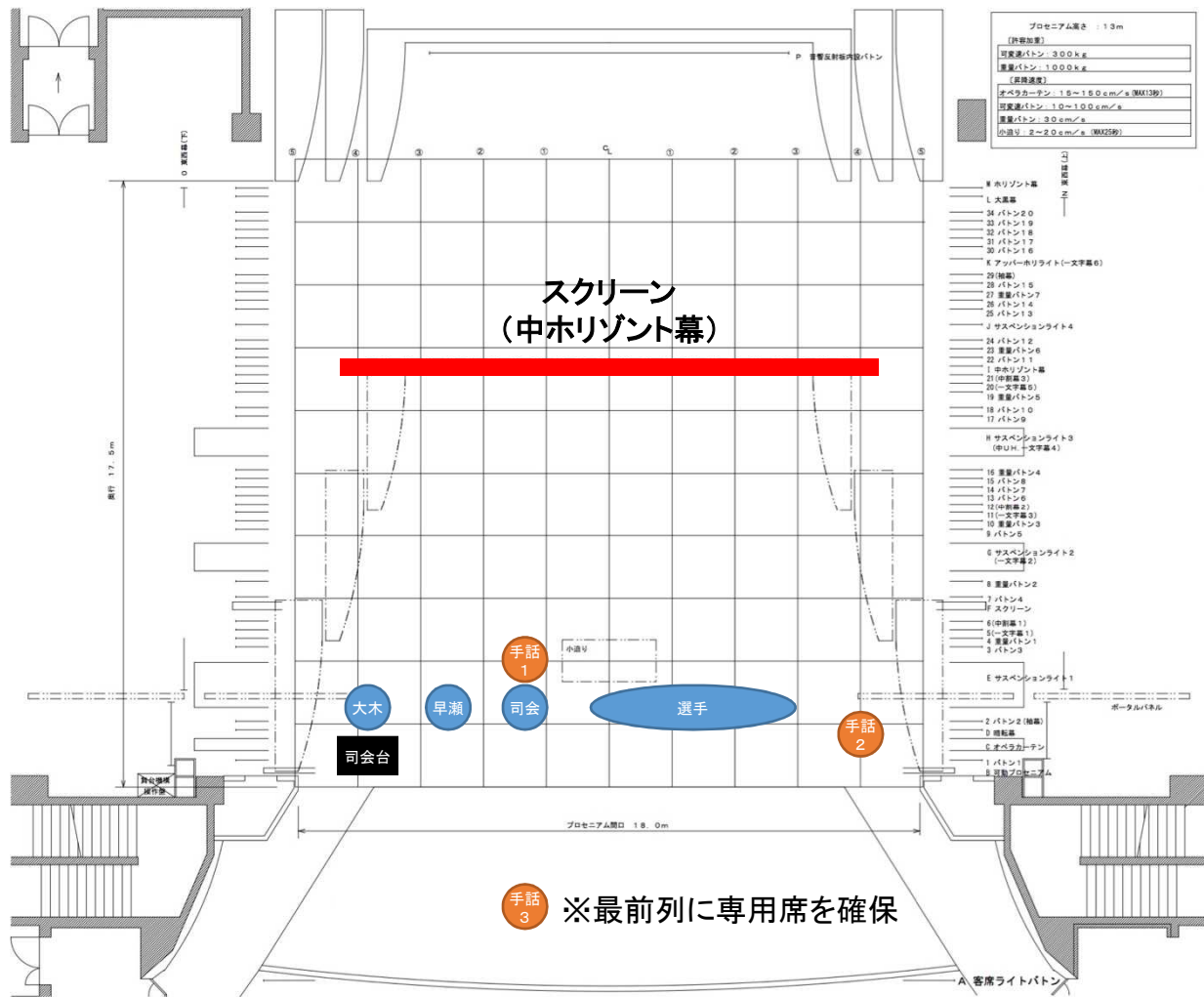
演出映像 16:9	ライブ映像① 16:9
--------------	----------------



**インタビュー時**  
①ライブ/②手話通訳者  
③要約筆記 のマルチ画面

**パフォーマンス時**  
①ライブ(ヨリ・ヒキ)/②演出映像  
のマルチ画面

**常時**  
「ステージ映像」を含めたヒキ映像



- 大木** 総合司会(大木さん) 聞こえる・手話できない人
- 早瀬** 演技司会(早瀬さん) ろう者・手話できる人
- 司会** 演技司会(松本さん) 聞こえる・手話できない人

- 手話 1** 聞き取り通訳 ◎司会→早瀬
- 手話 2** 聞き取り通訳 ◎ステージ→来場者
- 手話 3** 聞き取り通訳 ◎ステージ→早瀬・選手  
読み取り通訳 ◎早瀬・選手→ステージ・来場者

◎「読み取り通訳」  
手話 → 日本語

◎「聞き取り通訳」  
日本語 → 手話

## ■雨天時・緊急時対応

9月25日(日) AM5:00時点

倉吉市内に**警報**が発令

主催者と協議の上

**開催か中止の判断**

### 中止の場合

- ◎鳥取県 ⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括 ⇒各班へ連絡
- ◎進行班 ⇒各出演者へ連絡  
(中止時の連絡網は別途作成)
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

- 来場者へは、会場「3×6看板」に「本日は中止となりました」と張紙をして 周知を行う
- 来場者対応として、スタッフを配置し、中止を喚起  
HP/Facebook等で、中止を告知

### 開催の場合

- ◎鳥取県 ⇒各関係機関へ連絡
- ◎統括 ⇒各班へ連絡
- ◎進行班 ⇒各出演者へ連絡
- ◎出演者班⇒出場チームへ連絡

- HP/Facebook等で、開催を告知

◎3×6看板へのビニールがけ ◎傘袋の用意等 ◎マルシェ開催場所の変更

### 緊急時対応

※危機管理マニュアルを作成しスタッフに徹底します

## 地震・火災など発生

全運営スタッフは、

- 来場者を落ち着かせる！！
- 来場者を「転倒・落下」の危険がある物から遠ざける！！

### 本部対応

#### 本部(緊急対策本部)

[本部集合]  
本部スタッフ  
明場室長・梅田課長・鳥聴協・  
安永係長・西村局長・中原部長・本山  
+  
会場責任者

### 来場者対応

- ◎大ホール内  
(進行班・ホール班)  
→ モニターに情報を掲載  
(各スタッフ、必要に応じメモ帳に情報を掲載)
- ◎サテライト・マルシェ・2階ホワイエ  
(会場班)  
→ 情報ボードに情報を掲載  
(各スタッフ、必要に応じメモ帳に情報を掲載)
- ◎総合案内周辺  
(総合案内班)  
→ 情報ボードに情報を掲載  
(各スタッフ、必要に応じメモ帳に情報を掲載)

本部から「各統括係」へ指示

各班から  
アナウンス  
情報保障

各班で、来場者を「避難誘導」(基本外へ避難する)

## ■ バリアフリー対策

### SPコード/ユニバーサルカラー

音声ガイドの作成作業をスムーズに行うことができます。また、デザインの配色は、ユニバーサルカラーに準拠して行っております。

### インターネット動画の配信

公式WEBサイトから、ステージの様子をYOUTUBEでインターネットで中継を行います。



### 手話通訳者の配置

ステージ進行に関わる手話通訳者を配置。  
また、運営スタッフとして、手話ができる「手話スタッフ」を配置します。  
運営に関する手話スタッフについては、鳥取県聴覚障害者協会と調整。

### 要約筆記・モニタの配置

①手話通訳②ライブ映像③要約筆記を一体化し、ひとつの画面で  
分かりやすく、情報を発信します！  
(1)ステージ (2)パブリックビューイング (3)LIVE配信

### 音声ガイドの実施

ステージ上の音声を聞きとりやすくするため、音声ガイドを実施。  
何かあれば、対応できるよう、専門スタッフを配置します。



### メモ帳の携帯

全てのスタッフに、ろう者にメッセージを伝えられるよう、メモ帳の携帯をさせます。

### 託児室・救護室の実施

救護室では、重度の障がい者の休憩スペースとして、ベッド等を用意し  
イベントの合間にくつろげるスペースを確保します。



### 無料シャトルバス

スロープ付のシャトルバスをJR倉吉駅＝倉吉未来中心へ運行



### ハートフル駐車場

ハートフル駐車場スペースを確保します。







## ■ 出場チーム・来賓送迎計画

### ■ 各空港の送迎

出場チーム・来賓の使用する空港を鳥取空港に集約し、飛行機到着時間にあわせてマイクロボスを運行します。

※バスの型・台数については、出場チーム決定後、再度調整します。

### ■ JR倉吉駅(主要最寄駅)の送迎

特急到着時間にあわせて、利用者数にあわせ「バス・タクシー」を運用します。

## ◎9月24日(土)

### > 鳥取空港→倉吉未来中心

便名	羽田空港 発	鳥取空港 着
293便	06:40	07:55
295便	09:45	11:00
1101便	13:00	14:15
297便	16:40	17:55
299便	19:15	20:30

※来賓がいらっしゃる場合は、JR倉吉駅経由

### > JR倉吉駅→倉吉未来中心

### > 倉吉未来中心→鳥取短期大学

※時間は、交流会開催時間に合わせて調整します。

### > 鳥取短期大学→JR倉吉駅(宿泊地)

※時間は、交流会終了時間に合わせて調整します。

## ◎9月25日(日)

### > JR倉吉駅(宿泊地)→倉吉未来中心

07:30発→07:45着 08:00発→08:15着  
(来場者用のシャトルバス2台で使用し、運行)

### > 倉吉未来中心→JR倉吉駅

(来場者用のシャトルバスを利用)

### > 倉吉未来中心→鳥取空港

17:00発→18:00着

便名	鳥取空港 発	羽田空港 着
298便	18:35	19:55

※来場者シャトルバスAを利用

### > 倉吉未来中心→米子空港

18:00発→19:30着

便名	米子空港 発	羽田空港 着
390便	20:50	22:15

※来場者シャトルバスBを利用

## 【参考（資料2）】

### 前回（第1回）の企画推進会議でいただいた意見への対応について

委員のご意見	ご意見への対応
大会PRコーナーの設置 （廣田委員）	大会の映像の放映及び大会を紹介するパネルを展示する手話パフォーマンス甲子園紹介コーナーを設置することとしました。（2階会場入口前）
高校生ボランティアの活用 （杉本委員）	昨年の会議でもご意見をいただいているテーマであり、今回、高校生ボランティアにも大会運営に携わってもらおうこととしました。杉本委員にご協力をお願いし、今後、杉本委員と詳細を詰めていきます。（チームアテンド等を想定。）
ハートフル席の周知 （国広委員）	ハートフルという名称は、主に県内で使用されていますが、鳥取県での大会ということでもあり、ハートフル席という名称を使用することとしたいと思います。なお、ハートフル席を周知するため、大会のPRチラシに掲載するとともに、会場でもハートフル席を紹介する看板を設置します。また、当日、スタッフが積極的にハートフル席を利用してもらえるよう案内を行う予定です。
サテライト会場と物販コーナーの仕切り（国広委員）	物販コーナーの配置を変更させました。前回危惧された問題（サテライト会場の観覧者の邪魔にならないか）は小さくなったのではないかと思います。引き続き、来場者の動線には留意していきたいと考えています。
大ホール内の昼食（寺谷委員）	施設側と交渉した結果、出場する高校生の飲食は可（3階席）、一般来場者等（1・2階席）の食事は不可となっています。昼食前には、マルシェ等で飲食物の販売を行っている旨のアナウンスを行い、誘導するよう考えております。なお、皆様をはじめ、関係者の皆様には別室でお弁当を提供させていただきます。
音声ガイド（廣田委員）	音声ガイドは、視覚障がい者向けに演技中、演技内容を案内する装置です。FM電波を使用するため、聴覚障がい者が利用している音声増幅装置用に電波の流用ができないか調査してみましたが、残念ながらできませんでした。音声ガイドの音量を上げることで、一部の聴覚障がい者の方にも利用できないか検討しています。
盲ろう者の対応（廣田委員）	盲ろう者が御来場された際に対応できるよう席の前にスペースを設けたお席を用意するようにします。具体的な支援方法は、同行されている介助者に個別に確認しながら行うよう考えております。また、盲ろう者の御来場については、鳥取県盲ろう者支援センターに事前に情報提供をお願いしています。
来場者向けの案内（催しの内容・障がい者対応）（大杉委員）	会場の総合案内に、視覚的に分かりやすい情報提供用の案内看板を設置します。
障がい者対応（できること・できないことの整理）（大杉委員）	随時、大杉委員と個別に相談しながら、計画を進めています。
トラブル等の情報の集約及び対応指示を行う組織の構築（大杉委員）	運営統括本部を楽屋7に設置し、各班の班長から本部に情報が集約され、対応指示が本部から班長→班員に周知される仕組みを構築させます。危機管理対応も同様に、本部から各班に速やかに指示を行うこととします。
手話スタッフの派遣（国広委員）	手話スタッフのボランティアをお願いすることとし、国広委員及び田中委員に御協力の要請を行いました。今後、人役数や業務内容等の詳細を両委員と詰めていく予定です。（現在のところ、全通研及び手話サークルで合計20人役の派遣を依頼。配置や業務内容等は調整中です。）
託児所の掲示（国広委員）	当然ながら、託児所の掲示を行います。（当日の運営スタッフにも周知を図ることとします。）
演技司会（早瀬憲太郎さんのパートナー）の決定（戸羽委員）	遅くなりましたが、この度、女優の松本若菜さんをお願いさせていただくこととなりました。大変ご心配をお掛けしました。

※ その他、駐車場の確保やチーム・来賓の送迎計画についても引き続き、検討していきます。



# 資料 3

## 第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園に係る今後の日程について

平成28年8月29日現在

日程	内容	備考
平成28年2月15日	実行委員会開催	第3回大会基本計画、収支予算・決算、実行委員会設置運営要項改正
平成28年2月29日	第4回企画推進会議	第3回大会開催要項、選考方法
平成28年4月	大会チラシ、ポスター送付	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国の高等学校、特別支援学校</li> <li>全都道府県 (障がい福祉担当、教育委員会)</li> <li>各都道府県全国ろうあ連盟加盟団体</li> <li>県内各市町村</li> <li>県内公共施設 等</li> </ul>
平成28年5月9日	参加申込み受付開始	予選審査動画の提出期限(7月25日)
平成28年6月28日	第1回企画推進会議	実施計画、申込み状況、収支予算・決算
平成28年6月30日	参加申込み期限	
平成28年7月4日	JR山陰主要駅での広告開始	デジタルサイネージ・ポスター掲示 鳥取・倉吉・米子・松江・出雲市駅
平成28年8月9日	予選審査会	鳥取県庁(審査結果発表会) 本大会に出場する20チーム選出
平成28年8月29日	第2回企画推進会議	実施計画、予選審査結果
平成28年9月24日	第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 交流会、リハーサル	リハーサル: 倉吉未来中心 交流会: 鳥取短期大学・看護大学
平成28年9月25日	第3回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 本大会	倉吉未来中心大ホール
平成28年11月中旬	第3回企画推進会議	第3回大会開催結果の報告、意見交換
平成29年1月中旬	実行委員会総会	第3回大会開催結果・総括、第4回大会基本計画、補正予算
平成29年2月中旬	第4回企画推進会議	第4回大会開催要項、選考方法

[参考] 2016年カレンダー(第3回大会関係)

申込み受付期間



手話パフォーマンス甲子園実行委員会企画推進会議 出席者名簿  
(平成28年度第2回)

役 職	所属 ・ 役職名	氏名 (敬称略)	出 欠 (代理：敬称略)
委員長	鳥取県福祉保健部長	藪田 千登世	出
委 員	公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 事務局次長兼福祉・労働委員会委員長	戸羽 伸一	出
	鳥取県手話通訳士協会	森原 早百合	出
	全国手話通訳問題研究会鳥取支部	国広 生久代	出
	鳥取県手話サークル連絡協議会	田中 優子	出
	社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 専務理事	杉本 新二	出
	鳥取県教育委員会事務局 教育次長	寺谷 英則	出
	鳥取県高等学校長協会 会長	依藤 典篤	出
	鳥取県私立中学高等学校長会 会長	山内 晃	出
	鳥取県立鳥取聾学校 校長	三王寺 孝子	出
	一般財団法人全日本ろうあ連盟 青年部長	廣田 喜春	出→欠 (JRのダイヤ乱れによる)
	国立大学法人筑波技術大学 教授	大杉 豊	出
事務局	障がい福祉課社会参加推進室 室長	明場 達朗	/
	障がい福祉課社会参加推進室 課長補佐	岡村 弘美	
	障がい福祉課社会参加推進室 係長	安永 孝文	